

エコフィード飼料給与豚肉の試食検討会

アンケート集計結果

社団法人 日本養豚協会

はじめに

現在の日本の養豚は、飼料を全面的に海外に依存しているが、アメリカのトウモロコシのエタノール燃料化や、中国での穀物需要の増大など、今後の飼料事情の見通しは決して明るくない。

そこで、今注目されているのは豊食の時代の副産物、食品残さである。しかし、過去に残飯養豚で肉質の低下、発育遅延など苦い経験をしたこともあって、食品残さの利用は、現在必ずしも進展するに至っていない。

今回レストランの食品残さを原料として、麹菌を用いて醗酵させて飼料化し、その醗酵飼料のもたらす効果等を検証するために肉豚の肥育試験を行い、麹菌由来のエコフィードを給与した豚の肉について試食検討会を行った。

今回の試食アンケートの結果が今後のエコフィードの活用、推進の一助となれば幸いである。

I 回答者の内訳

1. 性別

男性	女性	合計
44 名	10 名	54 名
81.5%	18.5%	100.0%

2. 年齢層

20～30 歳代	40～50 歳代	60 歳以上
9 名	29 名	14 名
17.3%	55.8%	26.9%

回答者は、合計 54 名で、うち 8 割が男性であった。

また、年齢層については、半数以上が 40～50 歳代で、20～30 歳代の割合が 2 割以下であった。